

研究構想シート		学校名	大田市立第二中学校
		氏名	土江まり子
A 研究主題 自他を大切にし支え合う中で、向上していこうとする生徒の育成 ～人権教育を通して～			
B 研究の目的 学校教育目標「誰もの“幸せ”を考えようとする生徒の育成」に迫るため。			
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもらしい素直さや明るさをもっている。 ・大きな声であいさつをすることができる。 ・物怖じせずに振る舞える生徒が多い。 ・学びに向かう意欲が乏しい。 ・社会性が未熟である。 ・生徒間の関係性が希薄である。 ・自己肯定感が低く、進路に見通しや希望をもてない生徒が多い。 	E 手立て・内容（研究仮説） 他者と関わり合う機会や「わかる」「できる」喜びを実感できるような学習活動を設定し、その手立てを工夫すれば、自他の幸せを尊重し、向上心をもって意欲的に学び生活する生徒が育つであろう。		D めざす子どもの姿 (1)「自他を大切にし」 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を持ち、互いのよさや違いを認め合う中で、自己肯定感を高めることができる。 ・自分を含めた誰もの幸せを願うことができる。 (2)「支え合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で人と関わり合いながら学ぶ。 ・安心して「ヘルプ」が言える人間関係を構築し、仲間の「ヘルプ」にも応えていこうとする意欲をもつ。 (3)「向上していこうとする」 <ul style="list-style-type: none"> ・学習が得意な生徒も苦手な生徒も、全員が生き生きと学習に取り組むことができる。 ・様々な価値観をもった他者との協働的な学習や活動を通して、自分の考えをより深めたり、課題を解決したりする。 ・将来の夢や目標に向かって、粘り強く努力を継続していく。
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> ・人権意識アンケート ・全国学力調査および島根県学力調査における教科・意識調査 ・家庭学習力アンケート ・アンケートQU 		
	G 研究計画 (1)人権教育 <ul style="list-style-type: none"> ・研究職員会議、人権教育推進会議の定期的開催 ・生徒会活動との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちの約束」改定委員会 ・人権集会 ・人間関係づくりプログラムの実践 ・道徳教育の推進 (2)学力育成 <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適・協働的・ユニバーサルデザインを意識した授業改善 ・一人一授業公開や訪問指導を活用した授業づくり研修 ・家庭学習の定着と改善に向けた取組 ・ICT機器活用の推進 		